

一般質問通告書

受領日時 令和2年2月21日 (午前) 午後11時00分 1番 氏名 荒川 滋

質問項目	質問の要旨
1 五城目町まち・ひと・しごと創生総合戦略について	(1) 人口減少の克服と地域創生の実現に特化した第1期の基本指針だったが、人口減少、少子化は加速している。町の自己評価は。 (2) 出会いから子育てまでの専用HPのアクセス数増加とあるが、掲載内容適切な更新が必要。(ARUCO) (3) 『活気のある町ですか』のアンケート結果は肯定がわずか8%と絶望的な数値。第2期に向けての改善策は。 (4) 以前も発言したが、町職員は町に住むべき。 人口減少に歯止めがかからない現状を踏まえ、地元への雇用促進を進め若者の減少を抑えるためにも、また地域の現状を確実に把握するためにも今後職員採用にあたり町独自の取り決めをすべき。 (5) 国の『稼ぐ地域をつくる』、県の『産業振興による仕事づくり』の観点からも五城目小学校改築事業において地元業者が工事に携わることができるように要望してきたが、現状は。また、地元産木材の使用は。
2 昭和50年に一部開通した雀館幹線の延長を	(1) 町の教育方針である小中連携をより深め、消防本部からの交通の便の向上による出勤の効率化、交通量が多く道路拡張やバイパス工事が各所で完了してきているが、水没による通行止めが頻繁に生じる国道285号線の迂回ルート確保としても、雀館幹線の延伸を図るべき。また、国県の補助事業で該当するものはないか。
3 町職員、地域パトロールの自覚と地元在住を進めるべき	(1) 日本郵政との包括連携協定による道路の損傷や異常、積雪状況、街路樹により見えにくくなる交通標識、不法投棄などの情報提供の状況は。 (2) 町職員もさらに自覚して気を配り対応すべき。そのためにも町在住が望ましい。
4 急務である、朝市と商店街の再生振興	(1) 525年続き五城目の顔である朝市再生は待ったなしの課題。平成30年12月に朝市出店者参加のもと懇談会が開催されたが改善には結びついていない。このままでは継続は難しい。急いで行動を起こさなければならない。開催場所、開催日、出店者増加策など今後どのように進めていくか。 (2) 人口減少や消費動向の変化で商店街は非常に厳しい状態にある。商店街再生の地域づくり人材を登用しては。 (3) 空き店舗・空き家の掘り起こしのイベントが先日行われたが、ドチャベンジャーズとの更なる連携を進め、まちなか再生につなげるべき。

<p>5 水道事業の今後</p>	<p>(1) 2月3日の新聞に、水道料金値上げの必要性がある自治体として掲載されたが、今後の時期や、値上げ幅の見通しは。</p> <p>(2) 平成30年12月に改正水道法が施行されたが、当町は・現状のまま・コンセッション方式・広域連携のうち現在の考えは。</p>
<p>6 一般が利用できる野球場と屋内練習場の整備を</p>	<p>(1) 一般が利用できる野球場として現五城目小学校のグラウンドの100m走ゴール付近をホーム側にして費用を抑え整備できないか。以前、土砂災害警戒区域なので人が働く場としては使用できないと答弁いただいたが、野球場は無理か。</p> <p>(2) 現在の小学校の体育館を土床体育館として利活用は出来ないか。野球やフットボール、テニスなどが利用でき、地面が荒れるといわれる屋内ゲートボール場とのすみ分けが可能になる。</p>

(追加質問)

一般質問通告書

受領日時 令和2年3月2日 午前・午後 1時45分 1番 氏名 荒川 滋

質問項目	質問の要旨
1 新型コロナウイルスについて	(1) 2月7日に感染症危機準備室を設置し、2月27日には小学校と中学校と幼稚園は春休みまでの臨時休校と休園を決め2日から休みとなった。この度の休校で学童クラブの利用者数増加が予想される。児童一人当たりの床面積の確保も含め町ではどのように対応するか。 (2) 放課後児童クラブの支援員は現在の体制で対応できるか。
2 森山の管理道路について	(1) 森山無線中継所連絡道路について町は事業所と意見交換と協議を行っており、今後も協議を重ねるとのことで、それは評価する。しかし、4月より一般車両の通行を遠慮願う看板を設置することは、森山を観光の重要な資源として活用することと真逆であり町民は望んでいない。5月の田植え期は、森山からの眺望が最も注目を浴びる時期でもあり、本格的撮影機材を車に積んで登る方が増える。 『一般車両の通行を遠慮願う看板』ではなく、『この先、幅員狭く、カーブ多く、段差があるので通行には十分気をつけるように注意喚起する内容』に変えるべきである。ぜひとも検討していただきたい。